

1 市町DX支援の主な取組（市町DX支援パッケージ）

- (1) 市町における自治体DXの支援（システム標準化に係る市町支援、人材育成支援 等）
- (2) 市町と連携した地域社会DXの推進（地域社会DX推進パッケージ事業の推進 等）
- (3) 市町支援体制の構築（「**DX推進リエゾン（地域リエゾン・分野リエゾン）**」の設置 等）



令和7年度のDX推進リエゾン活動について

R7年度の活動概要

(1) 市町の定期巡回、地域DXに関する課題・ニーズの把握

→5～7月の間に初回全市町訪問を完了※神戸市除く

(2) 情報共有プラットフォーム(LoGoチャット)等を活用した随時相談受付

→計16件受付（LoGoチャット13回、メール3回）

(3) 市町からの相談内容に応じて、専門的な助言・関係部署への橋渡し・市町間の課題共有・連携促進を実施

→計42件対応（バックヤード・業務改善系[14件]、デジタル人材[7件]、自治体連携[7件]、地域社会DX[5件]など）

(4) 標準化等の技術的支援は分野リエゾンが実施

→自治体情報システムの統一・標準化に向けた意見交換会を実施

市町からいただいた声



[DXの雰囲気になかなか醸成できない]、[費用負担が大きいため県が共同調達してくれると有難い]、[DX人材を育成する余裕がない]、[標準化の対応で人手が足りない] 等

県と市町が連携したDX推進体制の検討

2 県と市町が連携したDX推進体制に係る今後の方針

- 市町のDX推進状況の調査を実施し、課題の深掘りと詳細を把握
- 調査結果を踏まえ、デジタル専門人材による市町DX支援の形を検討
- 県と市町が連携し、市町の実情に応じたDXの推進が可能な体制の構築をめざす

■ 今後の流れ

- ① 各市町へ市町DX支援に係る調査票を発出（支援の必要性の有無、現状の人員、業務量 等）
- ② 深掘りヒアリング等を実施した上で、支援体制を検討・整理
- ③ R8年度に県と支援を希望する市町が連携したDXを推進できるよう体制を構築

※先行してR7年秋以降に市町DX支援に係るデジタル専門人材（1名）を配置予定

【今後のスケジュール（予定）】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査票	調査票発出、 回収、分析								
各市町ヒアリング		調査票の回答等を元に、 各市町へ深掘りヒアリングを実施							
支援体制 検討整備			各市町への深掘りヒアリングと並行して 支援体制検討、整備						

3 調査票の主な項目（案）

● 基本情報

既存調査にないものや補完目的の設問（首長の意識、ペーパーレス化の取組等）

● 職員のスキル、経験等

保有資格や経験年数、地域DXを担当する職員の数等

● プロジェクト・業務の案件数

年間システム開発・改修件数、IT調達案件数、予算規模等

● DX推進体制に関するアンケート調査 等

県への支援希望、期待する分野等

※本調査の回答は、県と市町が連携したDX推進体制の検討に活用します